

平成27年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年1月9日
東

上場会社名 株式会社マックハウス 上場取引所
 コード番号 7603 URL <http://www.mac-house.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白土 孝
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 杉浦 功四郎 (TEL) 03-3316-1911
 四半期報告書提出予定日 平成27年1月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第3四半期の業績(平成26年3月1日～平成26年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第3四半期	26,447	△0.9	70	△92.1	190	△80.5	△113	—
26年2月期第3四半期	26,699	△5.9	900	△52.3	975	△51.4	480	△59.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第3四半期	△7.37	—
26年2月期第3四半期	31.35	31.32

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第3四半期	28,150	15,289	54.3
26年2月期	28,015	15,981	57.0

(参考) 自己資本 27年2月期第3四半期 15,271百万円 26年2月期 15,971百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	20.00	—	20.00	40.00
27年2月期	—	20.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,300	△1.2	600	△47.4	700	△44.1	190	△65.4	12.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年2月期3Q	15,597,638株	26年2月期	15,597,638株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年2月期3Q	260,088株	26年2月期	260,061株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

27年2月期3Q	15,337,555株	26年2月期3Q	15,332,075株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
第3四半期累計期間	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 「参考資料」	9
商品別売上高の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(平成26年3月1日～平成26年11月30日)における我が国の経済は、政府による経済政策や金融緩和政策の効果により、輸出産業を中心とする企業の業績が改善するなど、景気は緩やかな回復基調が続いております。一方で個人所得環境は依然として厳しく、中・低価格帯のカジュアルウェア市場におきましては、外資小売企業や国内大手小売の出店拡大により市場競争はますます激化しております。衣料品小売全般において、仕入コストの上昇や消費者の依然として高い生活防衛意識によって、経営環境は厳しい状況で推移しております。

かかる状況下におきまして、当社は従来のジーンズカジュアルショップから、アパレルとライフスタイル雑貨を融合したライフスタイル提案型ショップへの変革に取り組んでまいりました。

アパレルとライフスタイル雑貨を融合することで、お客様に一層お買い物を楽しんで頂ける環境を提供し、ご来店頻度及び、お買上点数の向上を図ります。このアパレルとライフスタイル雑貨を融合した店舗は11月末時点で約300店舗となっております。また、「Navy Store」を屋号とする店舗は11月末時点で4店舗となっております。

出退店につきましては、SC(ショッピングセンター)を中心に36店舗を新規出店した一方、退店36店舗により、当第3四半期累計期間末店舗数は482店舗(前年同四半期比4店舗減)となりました。

商品面におきましては、PB(プライベートブランド)である「Navy」を主力ブランドと位置付け、素材に軽量でソフトな360度ストレッチニットデニムを使用した新感覚デニムNavy「RUN DENIM」を重点販売したほか、付加価値を高めた商品としてメガネの入るポケット付き「SA・RA・RI Cool」ドライポロ、香り付き「Navy」ライジングウェーブビズポロ、実需型商品である機能インナー、機能性商品として、ダウンをしのぐ暖かさの「マックヒートアウター」、光発熱機能の「マックヒート裏ポア」シリーズなどを販売強化しました。また、当社の原点であるジーンズにおきましては、ボブソン04ジーンズのマックハウス限定モデルを独占販売したほか、「Navy」と大人気のサンリオキャラクター「マイメロディ」のスペシャルコラボレーションを実施、いち早く「妖怪ウォッチ」ブームを捉えたキッズ商品を取り組み、ルームウェアの新ブランド「Fuarica di Fiore」(フワリカ ディ フィオーレ)を立ち上げるなど、話題性のある商品展開を行っております。

販売促進活動におきましては、マスプロモーションとして、商品戦略と連動した重点販売商品の新聞広告を掲載しております。

また、第1四半期よりチラシ販促を大幅に増加させましたが、費用に見合う効果が得られませんでした。そこで、第2四半期より費用対効果の高いモバイル販促の強化に努めており、期初に約40万人であったアクティブモバイル会員数は、11月末時点で約110万人となっております。

これら施策により、ジーンズは堅調に推移しましたが、天候不順などによる季節商品の販売時期のずれ込み、レディース商品のトレンド対応不足などにより、第3四半期累計期間において、アパレル全体の売上は前年を下回りました。今期より販売を強化しております実需衣料品であるインナー・レグにつきましては、計画通り順調に推移しております。また、第2四半期より社長が営業本部長を兼任し、営業力の強化を最優先課題として改革に取り組んでおり、既存店売上前年比は第1四半期95.9%、第2四半期99.4%、第3四半期103.1%と改善が見られました。

これらの結果、当第3四半期累計期間における売上高は26,447百万円(前年同四半期比0.9%減)、利益面におきましては、消費増税後の競争激化を主因として、セール及び、モバイル会員獲得に伴う割引特典等による売価変更が増加し、粗利益率は前年同四半期比で0.9ポイント低下いたしました。営業利益は70百万円(前年同四半期比92.1%減)、経常利益は190百万円(前年同四半期比80.5%減)、四半期純損失は113百万円(前年同四半期は四半期純利益480百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ135百万円増加し、28,150百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ227百万円増加し、20,505百万円となりました。これは主に現金及び預金が3,576百万円減少した一方で、売掛金が977百万円、商品が2,725百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ92百万円減少し、7,645百万円となりました。これは主に敷金及び保証金が236百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ827百万円増加し、12,861百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べ993百万円増加し、10,384百万円となりました。これは主にファクタリング債務が349百万円減少した一方で、支払手形及び買掛金が1,254百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ165百万円減少し、2,476百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ692百万円減少し、15,289百万円となりました。

これは主に四半期純損失を113百万円、剰余金の配当613百万円を行ったこと等によるものであり、総資産に占める自己資本比率は54.3%となり前事業年度末に比べ2.7ポイント減となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成26年10月2日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」の記載から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成26年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,246	8,670
売掛金	413	1,391
商品	6,916	9,641
前払費用	346	348
繰延税金資産	129	168
その他	225	285
流動資産合計	20,277	20,505
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	142	135
建物附属設備(純額)	1,083	1,268
構築物(純額)	47	37
車両運搬具(純額)	—	0
工具、器具及び備品(純額)	83	107
リース資産(純額)	6	11
土地	194	194
その他	1	6
有形固定資産合計	1,559	1,760
無形固定資産	195	222
投資その他の資産		
長期前払費用	204	217
敷金及び保証金	4,980	4,743
繰延税金資産	762	679
その他	72	50
貸倒引当金	△36	△28
投資その他の資産合計	5,983	5,662
固定資産合計	7,737	7,645
資産合計	28,015	28,150

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成26年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,124	7,378
ファクタリング債務	1,606	1,257
未払金	497	343
未払法人税等	83	38
未払費用	727	1,127
賞与引当金	98	25
店舗閉鎖損失引当金	10	26
リース資産減損勘定	143	109
資産除去債務	22	7
その他	76	69
流動負債合計	9,391	10,384
固定負債		
長期末払金	85	31
退職給付引当金	1,438	1,429
転貸損失引当金	232	169
長期預り保証金	185	180
長期リース資産減損勘定	107	44
資産除去債務	587	612
その他	5	9
固定負債合計	2,642	2,476
負債合計	12,033	12,861
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617	1,617
資本剰余金	5,299	5,299
利益剰余金	9,209	8,482
自己株式	△152	△152
株主資本合計	15,974	15,247
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	△2	24
評価・換算差額等合計	△2	24
新株予約権	9	17
純資産合計	15,981	15,289
負債純資産合計	28,015	28,150

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
売上高	26,699	26,447
売上原価	13,873	13,983
売上総利益	12,826	12,463
販売費及び一般管理費	11,925	12,392
営業利益	900	70
営業外収益		
受取利息	15	12
受取家賃	279	237
その他	64	101
営業外収益合計	358	352
営業外費用		
支払利息	2	1
不動産賃貸費用	261	221
その他	20	10
営業外費用合計	284	232
経常利益	975	190
特別利益		
受取補償金	—	11
受取違約金	8	—
その他	0	—
特別利益合計	9	11
特別損失		
固定資産除却損	13	33
減損損失	24	96
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	26
特別損失合計	37	157
税引前四半期純利益	947	44
法人税、住民税及び事業税	210	128
法人税等調整額	255	29
法人税等合計	466	157
四半期純利益又は四半期純損失(△)	480	△113

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第3四半期累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)

当社は衣料品等小売業並びにその他サービス業務を営んでおりますが、その他サービス業務の重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

4. 「参考資料」

商品別売上高の状況

商品別	期別	前第3四半期累計期間	当第3四半期累計期間	前年同四半期比	増減
		自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日	自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日		
メンズトップス		7,928百万円	7,636百万円	96.3%	△292百万円
メンズボトムス		5,182百万円	5,254百万円	101.4%	71百万円
レディーストップス		4,075百万円	3,529百万円	86.6%	△546百万円
レディースボトムス		3,556百万円	3,316百万円	93.2%	△240百万円
キッズ		2,739百万円	2,907百万円	106.2%	168百万円
その他		3,216百万円	3,802百万円	118.2%	586百万円
合計		26,699百万円	26,447百万円	99.1%	△252百万円

(注) 「その他」はインナー・レッグ、雑貨等であります。